

小林当織物株式会社

プラチナ世代向けの 機能性おしゃれ素材の開発



プラチナ世代（アクティブなシニア世代）は、現状のファッションに満足していない人たちが多く、タテ糸のツナギ作業を可能とするタイイングマシンの導入を図り、プラチナ世代をターゲットとし、「機能性」と「おしゃれ」を両立した素材の開発を行った。

プラチナ世代に需要のある機能性おしゃれ素材の開発に着手

プラチナ世代の衣料品市場規模は潜在需要も入れると約6兆円（三菱総合研究所調査）。この世代の女性は、現状の高齢者向けファッションに不満を持ち、おしゃれに関心がある。だからといって若い女性と同じというわけにもいかず、着やすさなど機能性への配慮も重要だ。当社では、こうしたプラチナ世代に向けた主力品とし

てストレッチのアウトター素材の開発を行う。スポーツウエアや介護服とは一線を画し、身体の動きが楽で、かつ、おしゃれ感もあるジャガード服地素材を目指し、「タテ糸とヨコ糸の両方向けにストレッチ糸を使った服地素材」「薄くて軽いジャガード織物」「光沢きらびやかなジャガード織物」のジャガード服地素材の開発を意図した。

新たにタイイングマシンを導入し、 品質の向上とツナギ作業の検証に取り組む

今回開発する3種類のジャガード服地素材で使用する「ストレッチ糸」「極細糸」「ラメ糸」は、当社既存のタイイングマシンでは対応できないため、それらが可能となるマシンの検討を行い、ストリープ社のタイイングマシンを導入した。

このタイイングマシンを用い、3種類のジャガード織

物の試作開発を行った。

一つは、たてよこ両方向に伸縮性のあるおしゃれ素材。これはタテ糸およびヨコ糸をストレッチ糸としたジャガード織物である。

二つ目は、薄くて軽いおしゃれ素材。タテ糸を10Dの極細糸としたジャガード織物である。

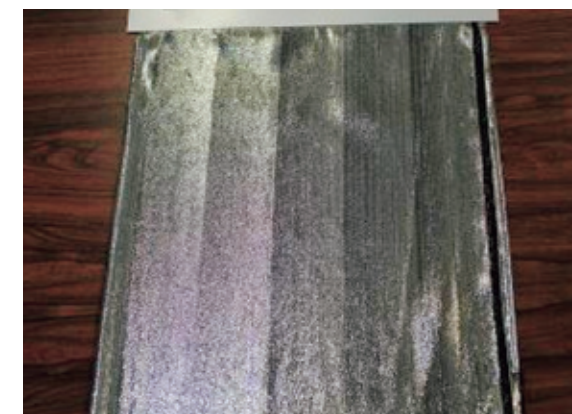
三つ目は、たてよこ両方にラメ糸を用いた光沢きらびやかなジャガード織物だ。

品質はもちろんだが、実用化には「ツナギ作業時間」が重要であり、目標値の半分未満であれば「優」、目標値

の半分以上2倍未満の数値であれば「良」、ツナギ作業や試作開発を完了させることができなかった場合は「不可」と判定することとした。



タテ糸ラメ糸



完成した試作品

プラチナ世代向け機能性おしゃれ素材の開発と ツナギ作業の省力化に目途

試作開発の検証を行ったところ、「たてよこ両方向に伸縮性のあるおしゃれ素材」はツナギ作業の評価判定「可」、試作開発の評価判定「優」。「薄くて軽いおしゃれ素材」はツナギ作業・試作開発ともに「優」。しかし、「たてよこ両方にラメ糸を用いた光沢きらびやかな織物」は、ツナギ「可」試作開発「不可」となった。

今回導入したタイイングマシンにより、プラチナ世代

向けの機能性おしゃれ素材の試作品開発には成功したものの、一部の試作品は当初の予定から規格変更を余儀なくされた。原因は突き止められたが解決には至っていないので今後の課題である。

コスト面では、当初のもくろみ通り仮ツナギを用いることなくツナギ作業をできることが確認でき、省力化を実現できる見通しが立った。

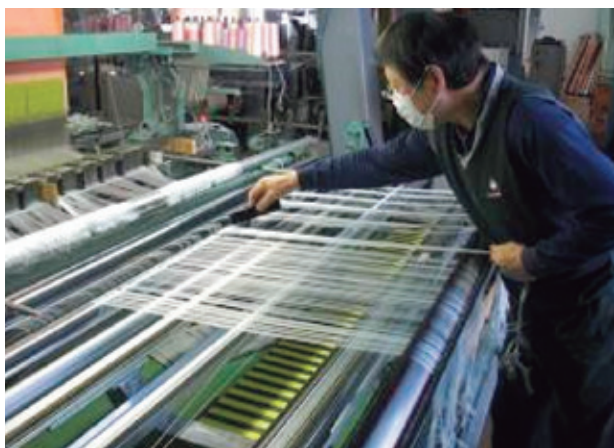
タテストレッチ服地・タテラメ服地・極薄服地を国内取引先に販売

今回の検証により、極薄織物は想定以上に難度が高いことが判明した。そのため、改善を踏まえ、売り込み見込みも下方修正を強いられた。

販売先として有力アパレルメーカーや実績のある繊維商社を想定している。タテストレッチ服地・タテラメ服地・極薄服地3種類の売り上げ見込みは、2016年度1,900万円、2019年度6,900万円である。検証を進め、

目標を上回るよう努力していく。

市場調査・商品開発はトレンドの把握に努め、国内取引先の評価を受けて素材製造の確立ができれば、海外への販売にも取り組む。



タテ糸ポリエステル糸10Dのツナギ作業



事業者名／小林当織物株式会社
代表者名／代表取締役社長 小林雅子
設立年／1950(昭和25)年
所在地／群馬県桐生市仲町1-4-29
電話番号／0277-44-7135

URL／www.kiryuorimono.or.jp/textile_div
資本金額／5,000万円
従業員数／24人
業種／繊維工業